

1日目 9月16日

会 場： 松江市営野球場

第2試合		～1回戦～（8回コールド）																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
立正大淞南		1	0	0	6	1	0	0	3								11	12	4
出雲商業		0	0	1	0	0	2	0	0								3	4	2
(投手－捕手)																			
・（淞）		松崎→島田→日野 － 真田																	
・（出）		福原→三崎→川西→桑本 － 高橋																	
(長 打)		(二塁打)							(三塁打)					(本塁打)					
・（淞）		山下、勝部																	
・（出）		矢田、福島																	
(審判)〔球審〕		安達健			〔一塁〕須山				〔二塁〕宮森孝				〔三塁〕藤原大						
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	バ	逸	打妨	
(淞)	40	12	8	2	0	0	1	2	4	1		1		4	0	0	1	0	
(出)	30	4	2	2	0	0	7	2	0	1		0		2	1	0	0	0	

*淞南は守備妨害1個

「立正大淞南が中盤の連打で突き放し、初戦突破！」

試合は3回まで接戦となった。1回表、立正大淞南は先頭が四球で出塁すると、2番山下がヒットエンドランを成功させ、無死1・3塁とし、3番勝部のレフトへの適時打で先制した。しかし、後続が絶たれ結局1点に止まる。すると、3回裏、出雲商業は四死球2つで1死1・2塁とし、遊ゴロで併殺と思われたが、遊撃手の1塁転送が暴投となり同点に追いついた。

直後の4回表、安打と野選、犠打で1死2・3塁とすると、8番竹内が2球目にスクイズを敢行するがファールとなり失敗するも、5球目を叩くと三塁手の悪送球を誘い2点入り、立正大淞南が再び勝ち越しに成功する。勢いは止まらず、1番松永、2番山下、3番勝部にも適時打が生まれ、出雲商業もすかさず継投するが、4番真田がレフトへ適時打を放ち、この回に一気に6点を挙げ試合を決めた。

出雲商業は6回裏に4番福島のリフトを越える適時2塁打で2点を挙げ反撃するが、5回に1点、8回に3点を立正大淞南に追加され、8回コールドで力尽きた。

〔野手成績〕

[illegible][illegible][illegible][illegible]